

### 高齢者や子ども見守るネット

11日、野宮教授と三浦さんが市役所を訪れ、デザインの完成を片岡聡一市長に報告した。三浦さんは「アンテナに見立てた五重塔がポイント。市民の皆さんに親しみを持

た。ステッカーは、同市の古代山城・鬼ノ城ゆかりの温羅をイメージした鬼を親しみやすくしたキャラクターを使い、緑色を中心カラーにして仕上げた。同大デザイン学部の野宮謙吾教授の指導で、同学部4年三浦佳代子さんがデザインした。

### 近く協力事業所に配布

同ネットワークは2014年度に創設。市内の75団体・事業所が協力し、日頃の営業活動の中で高齢者の異変や児童虐待などにつながる情報を得た場合、市に連絡する。市は鬼のキャラクターを高齢者や子どもの見守り支援シンボルとしても活用する。

## 鬼ステッカーで周知

### 総社市と県立大制作

総社市は、市内の事業所と協力して高齢者や子どもの安全を確保する「みんなで見守るネットワーク」で、協力事業所を表すステッカーのデザインを県立大(同市窪木)と共同で制作した。(古川和宏)



完成したステッカーのデザイン(手前左)を片岡市長に紹介する三浦さん(中央)と野宮教授(右)